



学びサポーター

「まちづくり功劳賞」受賞！

生涯学習総合センターのボランティアである「学びサポーター」が、北九州市の「まちづくり功劳賞」を受賞しました。市民のみなさんの学びと活動を献身的に支援されてきたことが評価されたものです。

2月10日（火）にJ:Com北九州芸術劇場で開催された「北九州グランドアワード2026」にて表彰式が行われ、代表者が出席しました。

学びサポーターの活動日に、表彰状を囲んで集合写真を撮りました。これからも、ますます活躍されることを願っています！



子どもとの関わりに活かせる心理学

2月7日（土）に「市民カレッジ公開講座&放送大学コラボ講演会」が開催され、北九州市立大学教授の山下智也先生に講演をしていただきました。子育て中の親世代や学校関係者など、100名を超える応募がありました。

また、昨年度から手話通訳と要約筆記の対応を始め、今回初めて希望者がいらっしゃいました。

講師の話を聞くだけでなく、ワークショップも交え、受講生のみなさんとても楽しく学ぶことができていたようです。



地域づくり実践講座

認定NPO法人好きっちゃ北九州理事長の入門真生さんがコーディネーターを務める本講座には、定員を上回る応募がありました。

会場は生涯学習総合センターだけでなく、八幡東区や戸畑区でも実施し、それぞれ「まちづくりの担い手の育成」や「子どもまんなかのまちづくり」をテーマに開催したことで、各回とても多くのスポット受講の申し込みがありました。

講座は、主体的にいきいきと活動するための「協働」のつくり方について学んだ他、受講生同士のディスカッションによって、経験を言葉にし、暗黙知を具現化していく、とても良い学び合いの場になりました。



シルクが織りなす文化と歴史

シルクキュレーターの林久美子さんがコーディネーターを務める本講座には、定員を上回る応募がありました。市民カレッジで「シルク」をテーマに扱うのは初めてのことでしたが、興味・関心が高いことがわかりました。

講座は、歴史や文化、産業など、多方面からシルクの魅力に迫るものとなりました。実際にカイコの繭や紡いだ糸を触ってみたい、繭から糸ができていく様子を見たりと、受講生のみなさんも興味津々の様子で、質問も活発にされていました。



*** 令和8年度前期 市民カレッジの開催に向けて ***

現在、令和7年度後期の市民カレッジを開催中ですが、「令和8年度前期のパンフレットはいつできますか？」というお問合せを多数いただいています。

令和8年度前期のパンフレットは、4月上旬に各区の生涯学習センターや区役所、全市民センターなどに配布される予定です。HPでも情報を見ることができますので、「北九州市民カレッジ」で検索してみてください！全20講座を開講予定です。

また、オンライン講座開催への要望も年々増えています。今年度は試験的に運用し、課題などを検証してきました。市民のみなさんの多様なニーズに応え、充実した学びの場を提供するため、まずは講座のアーカイブ配信に取り組めるよう、検討を進めていきたいと考えています。